

BeoLink Passiveキットと、Bang & Olufsenのパッシブスピーカーを接続すれば、メインとなるBang & Olufsenシステムに新たな次元が開かれます。

メインシステムに含まれるすべての音源または映像源のサウンドが、BeoLink接続を経由し、BeoLink Passiveとスピーカーを設置した他の部屋で楽しめるようになります。

それだけではありません。Beo4 リモコンからの指示を、BeoLink Passive 経由で送ることにより、メインシステムの日常的な再生機能を操作することもできます。

これから、その方法をご説明しましょう…

4 可能になるのは…

…他の部屋への音楽の供給

5 本体操作

サウンドコントロール

Timer Play の操作

音量の調整

6 リモコン操作

Beo4 リモコンを使う

7 メインシステムの操作**8 さまざまな操作****9 BeoLink Passive のサウンド調整****10 Beolink 1000 リモコンを使う**

本ガイドは、BeoLink Passive セットアップ (BeoLink Passive キットと、Bang & Olufsen のパッシブスピーカー 1 組) の操作方法について、説明していきます。

この BeoLink Passive キットに同梱されているセットアップガイドでは、BeoLink Passive と Bang & Olufsen スピーカーの設置方法、および BeoLink Passive を使用可能にする方法が説明されています。

…他の部屋への音楽の供給

BeoLink Passive キットと Bang & Olufsen のパッシブスピーカーは、メインとなる Bang & Olufsen システムに新たな次元を開きます。

- メインシステムの全音源および映像源のサウンドが、BeoLink Passive を設置した部屋でも聞けます。
- BeoLink Passive を設置した部屋から、Beo4 リモコンを使い、メインシステムに含まれる多くの機能が操作できます。

BeoLink Passive に接続した 2 本のスピーカーは、メインシステムが奏でる高音質ステレオサウンドを、そのまま再生します。

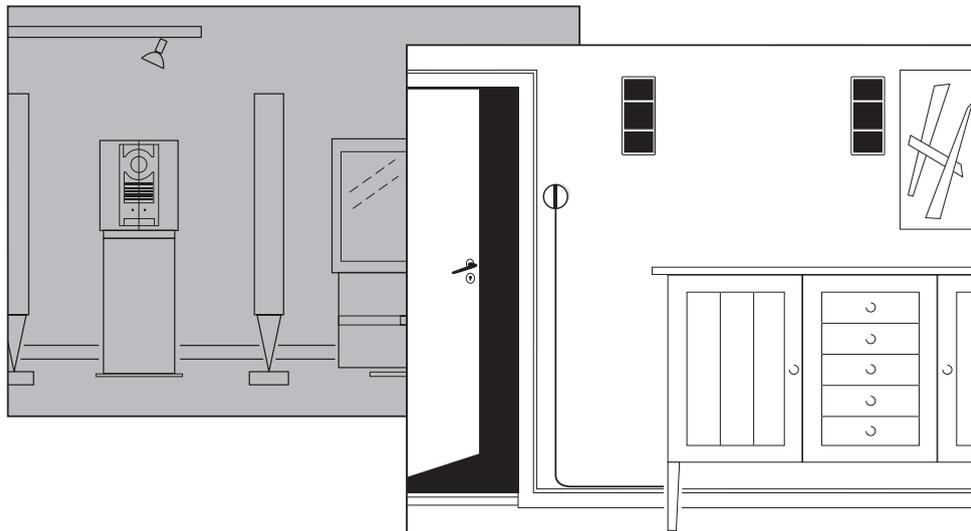
これから、その方法をご説明しましょう…

BeoLink Passive の本体操作で可能なのは:

- メインの Bang & Olufsen システムで、最後に聞いていたラジオ(またはテレビ)局をオンにすること。または、現在演奏中のサウンド(オーディオ/ビジュアル双方)を聞くこと。
- BeoLink Passive に接続した 2 本のスピーカーの、音量調整。
- BeoLink Passive が設置された部屋を、メインシステムの Timer Play プログラムの実行対象に含むこと。

Beo4 リモコンを使って可能となるのは:

- BeoLink Passive 受光部を経由して、メインの Bang & Olufsen システムに含まれる全音源/映像源のスイッチを、オンにすること。
- 現在演奏中の音源/映像源の、日常的な再生機能を操作すること。
- BeoLink Passive に接続した 2 本のスピーカーの、サウンド調整。



メインとなる Bang & Olufsen システム(オーディオ、ビジュアル、または AV)と BeoLink Passive セットアップは、Bang & Olufsen の BeoLink によって接続されなければなりません。

その後は、BeoLink Passive セットアップのある部屋から、メインシステムに含まれる全音源/映像源のサウンドが聞けます(操作も可能です)。

サウンドコントロール

BeoLink Passive 受光部の下部にある PLAY・ と書かれたキーを押すと、メインとなる Bang & Olufsen システムで現在演奏されているサウンドを聞くことができます。

メインシステムがオフになっていた場合、PLAY・を押すと、最後に聞いていたラジオ局* がオンになります。

どちらの場合も、メインシステムからのサウンドは、PLAY・を押すだけで、BeoLink Passive ルームでいつでも聞くことができます。

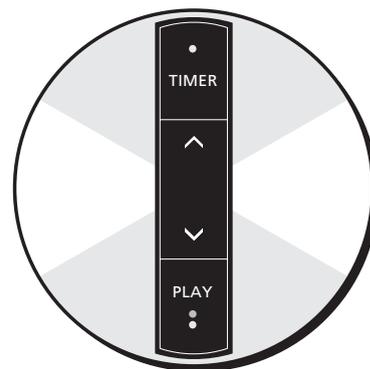
演奏中に PLAY・を短く押すと、BeoLink Passive のスイッチがオフになります。PLAY・キーの中に、小さな赤いライトが点灯し、スタンバイ状態になったことを示します。

PLAY・を 2 秒以上押し続けると、BeoLink Passive とメインシステムの両方が、同時にスイッチオフとなります。

* 注意： もしも、メインシステムが Bang & Olufsen のビジュアルシステムだけで音源機器を含んでいないと、PLAY・を押したとき、最後に見ていたテレビ局がオンになります。

注意： BeoLink Passive のスイッチをオンにした時、メインの Bang & Olufsen システムがスタンバイ状態にあった場合は、BeoLink Passive を設置した部屋のスピーカーだけから音が出ます。メインルームのスピーカーから、音は出ません。

小さな円形をした BeoLink Passive 受光部には、本体操作用のキーが 3 個あります…



Timer Play の操作

メインとなる Bang & Olufsen システムに、朝の決まった時間などに演奏を開始させる Timer Play がプログラムされていた場合は、BeoLink Passive ルームのスピーカーにも、そのプログラムを実行させることができます。

BeoLink Passive 受光部の、TIMER キーを押しつづけてください。TIMER キーの中に小さな赤いライトが点灯し、BeoLink Passive ルームでも、メインシステムにプログラムされた Timer Play が実行されるようになります。

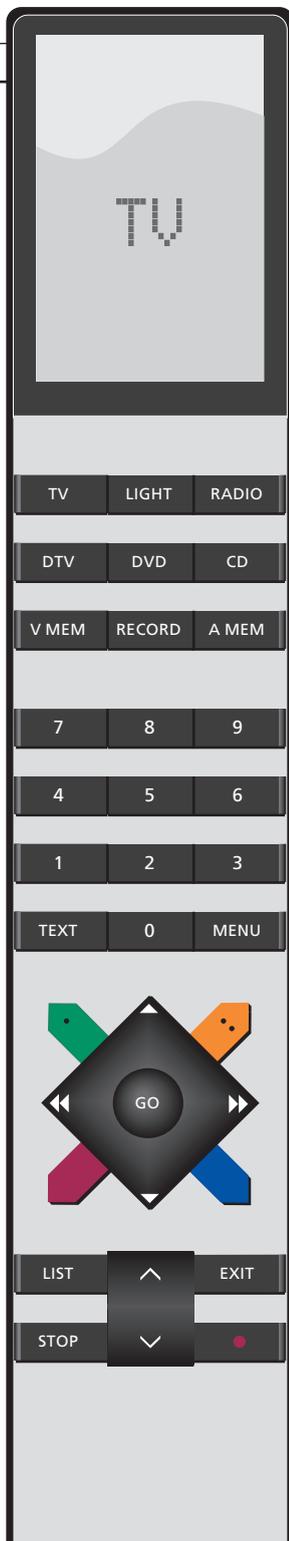
再度 TIMER キーを押すと、このタイマー機能はオフになります(赤いライトが消えます)。

音量の調整

音量は、メインとなる Bang & Olufsen システムとは別個に、調整することができます。

BeoLink Passive 受光部にある音量ボタン、Λ または V を押すと、スピーカーからの音量が上下します。

注意： サウンドについての詳細は、9 ページをご覧ください。



Beo4 リモコンを使う

Beo4 リモコン*を使うと、BeoLink Passive セットアップがより柔軟に操作できます。

BeoLink Passiveの本体操作では、メインシステムで最後に聞いていたラジオ局(またはテレビ局)のスイッチを入れるか、現在演奏中のサウンドを呼び出すことができます。

Beo4 リモコンを使えば、メインの Bang & Olufsen システムに含まれるすべての音源/映像源を、自由に選ぶことができます。その音源/映像源の、日常的な機能を操作することも可能です。

日常的な再生機能の操作は、Beo4 リモコンを使うことにより、メインシステムを直接操作しているのと同様に行なえます。

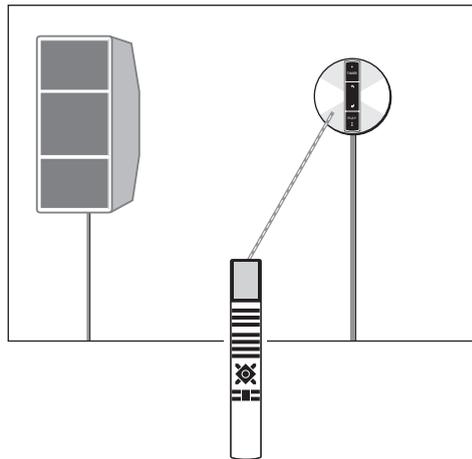
Beo4 リモコンを使って出した指示は、BeoLink Passive 受光部によって受信されます。BeoLink Passive は、BeoLink 接続を経由して、受信した指示をメインとなる Bang & Olufsen システムに伝えます。

* 注意：Beo4 リモコンは、Bang & Olufsen 取扱店でご購入いただけます。

さらに Beo4 は、2 本のスピーカーのサウンド調整にも使用されます。

Beo4 リモコンからの指示に、BeoLink Passive セットアップは迅速に反応します。特定のボタンを押して出した指示は、わずか数秒で実行され、スピーカーからのサウンドに反映されます。

その方法を、以下のページでご説明しましょう…



メインシステムの操作

BeoLink Passive 受光部を経由して、メインとなる Bang & Olufsen システムから好きな音源/映像源(オーディオ/ビデオ)を選び、そのサウンドを、BeoLink Passive に接続したスピーカーから聞くことができます。

そのためには、聞きたい音源/映像源の名前が書かれた Beo4 リモコンのボタンを、1つ押すだけです。

選んだ音源/映像源の演奏中は、ラジオ局や楽曲の切り替え、再生、サーチ、早送り/早戻しの実行と停止などが指示できます。

各ボタンの操作については、このページの右側をご覧ください…

BeoLink Passive セットアップのスイッチだけをオフにするには、Beo4 リモコンの赤いスタンバイボタン・を、短く押します。

このスタンバイボタンを2秒以上押しつづけると、BeoLink Passive とメインとなる Bang & Olufsen システムの両方が、オフになります。

注意：このページで説明している各機能は、対象となる音源/映像源がメインの Bang & Olufsen システムに含まれており、ボタンが示す機能に対応している場合に、BeoLink Passive を設置した室内でのみ操作可能となります。

音源の操作は…

ラジオのスイッチを入れる

RADIO

CD プレーヤーの演奏開始

CD

テープレコーダーの演奏開始

A TAPE

映像源の操作は…

テレビのスイッチを入れる

TV

衛星放送のスイッチを入れる

SAT

ビデオテープレコーダーの再生開始

V TAPE

ラジオ局やテレビ局番号、CD またはテープに収録された曲番号を、前後に送っていく

▲
または
▼

局番号や曲番号を直接指定する

0
から
9

CD プレーヤー、またはオーディオ/ビデオテープレコーダーを一時停止する

STOP

オーディオまたはビデオテープレコーダー、および単体の CD プレーヤー上で…
テープを早戻しする;

◀◀
または

単体 CD プレーヤー内の CD を、
前方にサーチする

▶▶

通常の再生に戻る

GO

> サーチ機能について、詳しくは次ページをご覧ください…

各機能の詳細については、メインとなる Bang & Olufsen システムのユーザーガイドをご覧ください。

マルチ CD プレーヤーでは…

-  1つ前、次のCDに切り替える
または
- 
-  特定のCDを、ディスク番号で
直接指定する
- 
-  選ばれているCDを、後方にサーチする
-  選ばれているCDを、前方にサーチする
-  選んだCD上から、特定の曲を選ぶには…
何度か押し、ディスプレイにTRACK*を
表示させる。
-  その後、曲番号を押す。たとえば
-  11

-  短く押すと、BeoLink Passiveのスイッ
チが切れる

*注意: Beo4のディスプレイにTRACKを表示させるには、この機能をあらかじめBeo4に追加しておく必要があります。詳しくは、Beo4に付属するユーザーガイドの、「Beo4をカスタマイズするには…」の章をご覧ください。

BeoLink Passive と Beo4 を使う時のヒント…

- BeoLink Passive がスタンバイ状態の時に、Beo4 リモコンの音量ボタンの真ん中を押すと、BeoLink Passive 受光部の本体でPLAY・を直接押した時と、同じ結果が得られます(5ページ参照)。
- メインシステムにある Bang & Olufsen のレコードプレーヤーの演奏を開始させるには、LIST を何回か押しして[PHONO]* を表示させたあと、GO を押します。レコードの演奏中に ▲ または ▼ を押すと、プレーヤーのアームは、レコードの盤面上を 8mm 単位で前後に飛びます。
- メインとなる Bang & Olufsen システムに含まれた、2 台めのオーディオまたはビデオテープレコーダーの再生を開始させるには、LIST を何回か押しして A.TAPE2* または V.TAPE2* を表示させたあと、GO を押します。
- サウンドのモノ/ステレオ再生の切り替え、ラジオ局、テレビ局、衛星放送局の言語の切り替え、ビデオテープのサウンドトラックの切り替えを行なう場合は、LIST を何回か押しして SOUND* を表示させたあと、GO を繰り返し押ししていきます。
- メインの Bang & Olufsen システムがあるのと同じ室内で BeoLink Passive セットアップを使う場合は、この状況に合わせ、BeoLink Passive をプログラムしなければいけません(方法はセットアップガイドをご覧ください)。
この場合、メインシステムの音源/映像源をオンにして、BeoLink Passive スピーカーで聞くためには:
LIST を何回か押しして LINK* を表示させ、RADIO, CD または A.TAPE を押す
あるいは
LIST を何回か押しして LINK* を表示させ、TV, SAT または V.TAPE を押す

*注意: Beo4 のディスプレイに PHONO, A.TAPE2, V.TAPE2, SOUND および LINK を表示させるには、これらの機能をあらかじめ Beo4 に追加しておく必要があります。詳しくは、Beo4 に付属するユーザーガイドの、「Beo4 をカスタマイズするには…」の章をご覧ください。

BeoLink Passive のサウンド調整

BeoLink Passive セットアップからのサウンドは、メインとなる Bang & Olufsen システムとは別個に調整することができます。

もちろん音量は、Beo4 リモコンの ▲ または ▼ ボタンを押すことで、いつでも調整できます。また、音量ボタンの真ん中を押すと、スピーカーからの音を切ることができます。

LIST ボタンを押すたび、Beo4 リモコンのディスプレイには、新しい文字が表示されます。

必要とする機能名が表示されている時、GO ボタンを押すと、その機能がオン(または調整可能)になります。

何回か LIST ボタンを押すと、A.SETUP* が呼び出せます。GO を押してから再び LIST を押し、[BASS]、[TREBLE]、[LOUDNESS] を次々と呼び出すことで、BeoLink Passive セットアップのスピーカーからのサウンドの各項目が、調整可能となります。

その後は、▲ または ▼ のステップボタン、GO、◀ または ▶ ボタンを使い調整を行ないます。このページの右側をご覧ください…

すべてのサウンドレベルは、BeoLink Passive をオフにすると、元の設定に戻ります。

とはいえ、調整を終えた BeoLink Passive セットアップのサウンドを、初期設定として保存することも可能です。まず、LIST を何回か押して A.SETUP* を表示させ、GO と押します。その後 LIST を再び押し、S.STORE を表示させたあと、GO を押してください。

注意してください…

- 現在の全サウンドレベル(音量、バランス、低域、高域、ラウドネス)は、すべて一緒に保存されます。
- 映像源からのサウンドレベルを調整する時は、Beo4 のディスプレイに、A.SETUP* ではなく V.SETUP* を表示させます。
- 調整したサウンドをまだ保存していない場合は、LIST を何回か押して RESET* を表示させた後に GO を押すと、全サウンドレベルが元の設定に戻ります。

*注意: Beo4 のディスプレイに A.SETUP、V.SETUP、[RESET] および [SPEAKER] を表示させるには、これらの機能をあらかじめ Beo4 に追加しておく必要があります。詳しくは、Beo4 に付属するユーザーガイドの、「Beo4 をカスタマイズするには…」の章をご覧ください。

音量を上げる

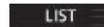


音量を下げる



中央を押すと、スピーカーからの音が消える。再び押すと、音が戻ってくる

何回か押して SPEAKER* を表示させる



バランスを左に移動させる、



バランスを右に移動させる



何回か押して A.SETUP* を表示させる そのあと



そのあと



BASS を表示させる



低域を強める



低域を弱める



TREBLE を表示させる



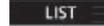
高域を強める



高域を弱める



LOUDNESS を表示させる



ラウドネスのオン/オフが切り替わる



サウンド調整を終えたら…

何回か押して A.SETUP* を表示させる



そのあと



S.STORE を表示させる
調整を終えたサウンドレベルを、
BeoLink Passive スピーカーの
初期設定として保存する



音源の操作は…

RADIO ラジオのスイッチを入れる

CD CDプレーヤーの演奏開始

A.TAPE テープレコーダーの再生開始
再生をテープの裏面へ切り替えるには、SHIFTを押してからSOUNDを押す

映像源の操作は…

TV テレビのスイッチを入れる

SAT 衛星放送のスイッチを入れる

V.TAPE ビデオテープレコーダーの再生開始

▲ ラジオ局やテレビ局番号、CD
または
▼ テープに収録された曲番号を、
前後に送っていく

0 または、局番号や曲番号を直接指定する

9

STOP CDプレーヤー、またはオーディオ/ビデオテープレコーダーを一時停止する

(ビデオテープレコーダーを、巻き戻さずその場で完全に停止させるには、STOPを2回押す)

<< テープを早戻しする; CDを前方にサーチする

>> テープを早送りする; CDを後方にサーチする

PLAY 通常の再生に戻る

● 短く押すと、BeoLink Passiveのスイッチが切れる

Beolink 1000 リモコンを使う

BeoLink Passiveの操作には、Bang & OlufsenのBeolink 1000 リモコンも使用できます。

BeoLink Passiveセットアップのサウンド調整をするには、まず、Beolink 1000 モコンのSOUNDボタンを押します。SOUNDボタンを押すことで、バランス、低域、高域、ラウドネスの4つの調整項目が切り替わっていきます*。

*注意: 実際の調整作業には、バランスの場合<<または>>ボタンを、低域と高域の調整、およびラウドネスのオン/オフには▲または▼ボタンを使う必要があります。



覚えておきましょう…

- BeoLink Passive がスタンバイ状態の時に、Beolink 1000リモコンのMUTE ボタンを押すと、BeoLink Passive 受光部の本体でPLAY・を直接押した時と、同じ結果が得られます(5ページ参照)。
- メインとなる Bang & Olufsen システムの音源/映像源を1つ選んだのに、別の機器の音が BeoLink Passive スピーカーから聞こえてきた場合は、メインシステム側で、録音または録画が実行されている可能性があります。その場合、聞こえているのは録音/録画中のサウンドです。これは、録音/録画を不用意に中断させないための、特殊な“ロック”機能が働いているからです。
- メインシステムにある Bang & Olufsen のレコードプレーヤーの演奏を開始させるには、PHONE ボタンを押します。レコードの演奏中に▲または▼を押すと、プレーヤーのアームは、レコードの盤面上を8mm単位で前後に飛びます。
- メインとなる Bang & Olufsen システムに含まれた、2台めのオーディオまたはビデオテープレコーダーの再生を開始させるには、SHIFT を押したあと、A.TAPE または V.TAPE を押します。
- メインシステムに接続された CDV プレーヤーをオンにするには、SHIFT を押したあと SAT を押します。
- サウンドのモノ/ステレオ再生の切り替え、ラジオ局、テレビ局、衛星放送局の言語の切り替え、ビデオテープのサウンドトラックの切り替えを行なう場合は、SHIFT を押したあと、SOUND を繰り返して押していきます。
- メインの Bang & Olufsen システムがあるのと同じ室内で BeoLink Passive セットアップを使う場合は、この状況に合わせ、BeoLink Passive をプログラムしなければいけません(方法はセットアップガイドをご覧ください)。
この場合、メインシステムの音源/映像源をオンにして、BeoLink Passive スピーカーで聞くためには:
LINK を押してから、RADIO, CD または A.TAPE を押す
あるいは
LINK を押してから、TV, SAT または V.TAPE を押す



350992408010009

3509924 0801